

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務含む)	指導担当者名	柳橋 南
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのが(宿題として視聴)
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い
	5	職業を知る	圧迫面接
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	1 3-4~3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	3-4~3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	3-4~3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分自身を知る 自分史作成 4	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り
	16	自己PRの作り方 1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り
	17	自己PRの作り方 2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り
	18	自己PRの作り方 3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り
	19	履歴書作成	期末評価
	20	履歴書作成	まとめ
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務含む)	指導担当者名	柳橋 南
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなど *履歴書の完成
	4	作成書類 2	
	5	作成書類 3	
	6	企業訪問	
	7	就職試験のマナー 1	5-1~5-2 準備、当日、事後の指導
	8	就職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1
	9	就職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2
	10	就職試験のマナー 4	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策3
	11	筆記試験対策 1	5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る
	12	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	13	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	14	筆記試験対策 4	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	15	企業研究 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	16	企業研究 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	17	企業研究 3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	18	企業研究 4	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	19	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	20	履歴書・面接試験	期末評価
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ゼクシィ				
授業外学習 の方法	テキストを読む。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自己紹介ウエディングプランナーのお仕事	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	2	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	3	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	4	結婚式場の種類と挙式スタイル	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	5	婚約から式場決定までのプロセスプランナーの役割	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	6	家族・親族の間柄ゲストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	7	家族・親族の間柄ゲストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	8	招待状の文面の種類とルール	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	9	自習:演出を調べる	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	10	BFW打合せ① <カウンセリング1>	企画・運営を考えプランニングする		
	11	BFW打合せ① <カウンセリング2>	企画・運営を考えプランニングする		
	12	BFW打合せ②企画・提案	プレゼンテーションで企画を提案する		
	13	顧客満足度を上げる接客と打ち合わせ	企画・運営を考えプランニングする		
	14	BFW打合せ③ <スケジュール・カウンセリング2・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	15	BFW打合せ④ <スケジュール・カウンセリング3・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	16	BFW打合せ⑤ <スケジュール・カウンセリング4・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	17	挙式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	18	ガーデンセレモニー	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	19	模擬結婚式	企画・運営を考えプランニングする		
	20	まとめ	前期授業の振り返りをする		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関係する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ゼクシィ		
授業外学習 の方法	テキストを読む。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	披露宴企画	挙式披露宴の流れ
	2	披露宴企画	進行台本の作成
	3	ペーパーアイテムとは	招待状の基礎知識
	4	ペーパーアイテムとは	テーブルプラン
	5	ペーパーアイテムとは	ペーパーアイテム
	6	市場調査と婚礼ビジネス	婚礼市場調査
	7	市場調査と婚礼ビジネス	ランキング作成
	8	パッケージと販売促進	販売促進
	9	パッケージと販売促進	広告媒体の実例
	10	パッケージと販売促進	ブライダルフェア
	11	まとめ	後期授業の振り返りをする
	12	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	13	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	14	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	15	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	16	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	17	BFウエディング	結婚式に向けての準備
	18	BFウエディング	リハーサル
	19	BFウエディング	本番
	20	まとめ	反省会(担当ごとに発表をする。)
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート> ゼクシー		
授業外学習の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	結婚とは	婚姻の要件、日本の結婚状況
	3	県内の結婚式の特徴(ゼクシー)	各エリアに合わせた形式
	4	県内の結婚式の特徴(ゼクシー)	結婚に関する風習・いわれ
	5	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	6	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	7	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	8	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	9	ブライダルの基本	見合いと婚約
	10	ブライダルの基本	結納、結婚式
	11	結婚式	司会の進め方
	12	結婚式	結婚式場の内情
	13	結婚式	人前結婚式
	14	結婚式の小物	小物の種類
	15	結婚式の小物	小物の種類
	16	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	17	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	18	欧米の結婚式	ヘアメイク・ネイルの違い
	19	海外のウエディング	式場・アテンド・流れの違い
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート> ゼクシィ				
授業外学習 の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	結婚式DVD鑑賞	衣装コーディネーター		
	2	コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴		
	3	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務		
	4	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務		
	5	手配業務	衣装・ヘアメイク・演出の手配		
	6	手配業務	引き出物・引き菓子		
	7	手配業務	記録・記念アイテム・花の手配		
	8	手配業務	役割・進行表		
	9	手配業務	アテンド業務・テーブルセッティング		
	10	手配業務	サービス業務・花の管理		
	11	レストラン業務(配膳)	ドリンク、デザート		
	12	レストラン業務(配膳)	料理サービス		
	13	期末テスト	現状まとめ		
	14	検定対策	過去問プリント		
	15	検定対策	過去問プリント		
	16	検定対策	過去問プリント		
	17	検定対策	過去問プリント		
	18	検定試験	検定受験		
	19	検定振り返り	検定問題自己採点		
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 秘書検定とは 導入
	2	マナー・接遇 人間関係と秘書	テキスト / プリント 準備 接遇マナーとは
	3	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 身だしなみ・来客対応
	4	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 来客対応(上座と下座・お茶の出し方)
	5	敬語・接遇用語	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	6	電話対応	テキスト / プリント 準備 電話のマナー
	7	秘書の資質(理論)	テキスト / 確認テスト 準備 求められる良識・身だしなみ
	8	職務知識	テキスト / プリント 準備 機能と役割
	9	組織	テキスト / プリント 準備 ラインとスタッフ・企業とスタッフ
	10	一般知識	テキスト / プリント 準備 財務・法務
	11	一般知識	テキスト / プリント 準備 マーケティング・カタカナ用語
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	13	前期中間試験	試験問題 準備
	14	中間試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	15	上司と秘書の関係	テキスト / プリント 準備 秘書の業務・PDSサイクル
	16	報告・連絡・相談	テキスト / プリント 準備 報告・連絡・相談の仕方
	17	説得・説明・依頼	テキスト / プリント 準備 説得・説明・依頼の仕方
	18	聞き方の基本	テキスト / プリント 準備 命令・指示・忠告を受ける際の聞き方
	19	交際業務	テキスト / プリント 準備 慶事・弔事・贈答(上書き・水引)
	20	パーティ・会議の知識	テキスト / プリント 準備 会議の形式・種類
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	文書作成	テキスト / プリント 準備 社内・社外文書
	2	文書取扱い・郵便知識	テキスト / プリント 準備 時事問題の理解
	3	グラフ作成	テキスト / 確認テスト 準備 グラフの種類
	4	オフィス機器・事務機器・ファイリング	テキスト / プリント 準備 資料整理・環境管理
	5	検定模擬テスト	テキスト / 模擬テスト 準備
	6	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	7	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	8	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	9	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	10	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	11	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	12	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	13	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	14	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	15	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	16	検定対策	テキスト / プリント 準備 過去問題
	17	検定の振り返り	テキスト / プリント 準備
	18	まとめ	テキスト / プリント 準備 まとめ
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験			実務経験: 無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間
学習到達目標	・就職後の実務やプレゼンテーションに必要なWordやPowerPointの技術を身に付ける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト FOM出版 「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の進め方
	2	Word	基本操作
	3	Word	文章を作成しよう
	4	Word	文章を作成しよう
	5	Word	グラフィック機能を使ってみよう
	6	Word	グラフィック機能を使ってみよう
	7	Word	表のある文章を作成しよう
	8	Word	表のある文章を作成しよう
	9	検定対策	実践問題
	10	検定対策	実践問題
	11	検定対策	実践問題
	12	検定対策	実践問題
	13	検定対策	実践問題
	14	検定対策	実践問題
	15	検定対策	実践問題
	16	検定対策	実践問題
	17	検定対策	実践問題
	18	検定対策	実践問題
	19	検定対策	実践問題
	20	検定対策	実践問題
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間
学習到達目標	・就職後の実務やプレゼンテーションに必要なPowerPointの技術を身に付ける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト FOM出版「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	他のアプリケーションとの連携	Wordデータの利用
	2	他のアプリケーションとの連携	Excelデータの利用
	3	他のアプリケーションとの連携	ほかのPowerPointのデータ利用
	4	他のアプリケーションとの連携	スクリーンショットの挿入の仕方
	5	プレゼンテーションの校閲	検索・置換
	6	プレゼンテーションの校閲	コメントの設定
	7	プレゼンテーションの校閲	プレゼンテーションを比較する
	8	便利な機能	セクションを利用する
	9	便利な機能	プレゼンテーションの問題点をチェックする
	10	便利な機能	テンプレートを操作する
	11	便利な機能	ファイル形式を指定して保存する
	12	総合問題1	練習問題
	13	総合問題2	練習問題
	14	総合問題3	練習問題
	15	総合問題4	練習問題
	16	総合問題5	練習問題
	17	新機能	ズームを使って目的のスライドショーにジャンプする
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅠ	指導担当者名	①柳橋南 ②海野あずみ
実務経験	①美容師実務経験12年 ②美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験13年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディングウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	自分の着たいドレスを見つけよう	着たいドレス検索
	3	ドレスの種類	ライン(シルエット)
	4	ドレスの種類	ライン別マップ作成 Aライン 雑誌を準備
	5	ドレスの種類	ライン別マップ作成 プリンセスライン 雑誌を準備
	6	ドレスの種類	ライン別マップ作成 ドームライン 雑誌を準備
	7	ドレスの種類	ライン別マップ作成 マーメイドライン 雑誌を準備
	8	ドレスの種類	ライン別マップ作成 スレンダーライン 雑誌を準備
	9	ドレスの種類	ライン別マップ作成 エンパイヤライン 雑誌を準備
	10	ドレスのデザインディテール	名称と種類
	11	ドレスの素材と装飾	名称と種類
	12	テスト	確認テスト
	13	ドレスのサイズ	衣装企業への見学とレクチャー
	14	ベール、グローブ、シューズ	衣装企業への見学とレクチャー
	15	ヘッドドレス、ネックレス、イヤリング、その他	衣装企業への見学とレクチャー
	16	ブライダルブーケ	ブーケの種類
	17	ブライダルブーケ	ブーケの種類別マップ作成
	18	フィッティング小物	ブライダルインナー、パニエ、アンダーウェア
	19	花嫁ドレストータルコーディネート	衣装企業への見学とレクチャー
	20	まとめ	レポート
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅠ	指導担当者名	①柳橋南 ②海野あずみ
実務経験	①美容師実務経験12年 ②美容師実務経験3年、ブライダルヘアメイク実務経験13年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	和装	和装の歴史、着物の生地と意匠
	2	和装	花嫁衣装の種類と各部位の名称
	3	和装	和装小物
	4	新郎の衣装	洋装の種類と各部位の名称
	5	新郎の衣装	メンズフォーマルウェアのサイズ、アクセサリ
	6	新郎の衣装	新郎和装
	7	ドレスフィッティング実習	フィッティング技術
	8	ドレスに合わせたトータルコーディネート	白ドレス
	9	ドレスに合わせたトータルコーディネート	カラードレス
	10	テスト	確認テスト
	11	参列者の衣装	両親媒酌人夫妻の衣装
	12	参列者の衣装	その他参列者の衣装
	13	ドレスの管理・お手入れ	衣装企業への見学とレクチャー
	14	トレンドのドレス	衣装企業への見学とレクチャー
	15	トレンドのタキシード	衣装企業への見学とレクチャー
	16	トレンドの和装	衣装企業への見学とレクチャー
	17	まとめ	レポート作成
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルネイル	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験13年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレスをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・ブライダルに関係するドレスやヘアメイクに合わせたネイルのコーディネートができるようになる。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	ゼクシィ		
授業外学習の方法	予習復習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	ドレスの基礎知識
	2	ドレスの取り扱い方	ドレスや小物の種類と扱い方
	3	ドレスの取り扱い方	ドレスや小物の種類と扱い方
	4	花嫁コーディネート	ヘアメイク・ネイルのデモンストレーション
	5	ネイル基礎知識	ネイルにおける基礎知識の理解
	6	ネイル基礎知識	ネイルにおける基礎知識の理解
	7	ドレスに関連する小物の説明	ドレスの小物について学ぶ
	8	ウエディングコーディネート	ドレスと小物を合わせたコーディネート
	9	ウエディングコーディネート	ドレスと小物を合わせたコーディネート
	10	ネイル技術基礎	ファイリング
	11	ネイル技術基礎	ファイリング
	12	ネイル技術基礎	ネイルケア
	13	ネイル技術基礎	ネイルケア
	14	ネイル技術基礎	ジェルの塗り方
	15	ネイル技術基礎	ジェルの塗り方
	16	ネイル技術基礎	ネイルデザイン
	17	ネイル技術基礎	ネイルデザイン
	18	トータルコーディネート	ウエディングドレスコーディネートコーディネートに合わせたネイル作成
	19	トータルコーディネート	ウエディングドレスコーディネートコーディネートに合わせたネイル作成
	20	まとめ	トータルコーディネート発表
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルエステ	指導担当者名	近内 睦美
実務経験	エステシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	フェイシャルエステや肌のトリートメント技術などブライダルエステについての基礎を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	フェイシャルマニュアル		
授業外学習の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	身だしなみ・エステ室の使用の仕方
	2	衛生消毒	手指消毒・ベッドセッティング・タオル
	3	フェイシャル導入	顔と手の名称・ポイントクレンジング(ウィッグ)
	4	クレンジング	ポイントクレンジング・クレンジング(ウィッグ)
	5	クレンジング拭き取り	ウエットコットン・ホットタオル拭き取り
	6	クレンジング通し	手順の確認テスト
	7	クレンジング	相モデル・モデルの誘導・セッティング
	8	フェイシャルトリートメントの目的	相モデル・モデルの誘導・セッティング
	9	マッサージ	マッサージのデモ・マニュアル作成
	10	マッサージ	相モデルで練習
	11	クレンジング・パックマッサージ	相モデルで練習
	12	試験の流れ	相モデルで練習
	13	中間テスト	手順の確認テスト
	14	カウンセリングシート	相モデルで練習
	15	肌分析	肌タイプ・肌分析(スコープ・ウッドランプ・水分計)
	16	パック	パックの手順・効果・デモ
	17	クレンジング・パック	相モデルで練習
	18	クレンジング・パック	相モデルで練習
	19	マッサージ・パック	相モデルで練習
	20	クレンジング・マッサージ・パックのテスト	相モデル
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー		指導担当者名	小池 久子	
実務経験	カラーコーディネーター実務経験14年			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	ウェディング学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	45時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 ブライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a				
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組みⅠ光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組みⅡ 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	7	ファッション概論、ブライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	17	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	18	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	19	テスト	確認テスト		
	20	検定試験	モジュール1受験		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	メイク(選択コースⅠ)	指導担当者名	佐々木 美代子	
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有	
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:	
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3,2級テキスト LedomメイクBOX			
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	「メイクアップの前に」	・メイクキットの検品・メイクアップの道具、手入れ・基本のセッティング例 デモスト 説明	
	2	「メイクアップの前に」	・モデルのセッティング例デモスト 説明・技術者の身だしなみ、スタンス、 道具の持ち方デモスト	
	3	「メイクアップの前に」	・メイクアップの仕事～3級試験概要説明(授業目標値)	
	4	「スキンケア①」	・スキンケアの順序・スキンケア化粧品の目的、特徴・皮膚・表情筋・顔の名称	
	5	「スキンケア②」	・化粧水・美容液・乳液テクニック復習(手順を覚える)(セッティング後 実習50分)	
	6	「スキンケア③」	・スキンタイプと肌の状態・化粧水・美容液・乳液テクニックトータルチェック	
	7	「スキンケア④」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践(ティッシュ、綿棒の使いこなし。 的確な添え手のポイント)	
	8	「スキンケア⑤」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践トータルチェック(実習50分)	
	9	「スキンケア⑥」	・スキンケアテクニックトータルレッスン(実習50分)	
	10	「ベースメイク①」	・ベースメイク化粧品の目的、特徴・ベースメイクの順序(座学20分)	
	11	「ベースメイク②」	・骨格・肌色(座学20分)・ファンデーション～パウダー 実践 ハンドテクニック、スポンジ・ パフテクニック	
	12	「ベースメイク③」	・ベースメイクの質感・肌トラブルとメイクアップ(座学15分)・コントロールカラー～ファン デーション	
	13	「ベースメイク④」	・ファンデーション～コンシーラー～パウダー 実践(セッティング後 実習50分)	
	14	「トータルレッスン①」	・化粧水・美容液～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)	
	15	「トータルレッスン②」	・ポイントクレンジング～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)	
	16	「顔分析①」	・顔分析理論・修整理論・ハイライト、ローライト、チークの効果(座学50分)	
	17	「顔分析②」	・ファンデーション～パウダー・ハイライト、ローライト、チーク(実習50分)	
	18	3級実技試験内容	・3級 試験 テーブルセッティング 注意事項説明 事前審査 実技試験 30分 審査	
	19			
	20			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(選択コースⅠ)	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験13年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策バイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	4	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧
	5	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧
	6	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニツパーワーク・流れを説明・実習
	7	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニツパーワーク・流れを説明・実習
	8	ケア・カラー (カラー5本指)	最初からの手順を通して実施
	9	ケア・カラー	1つ1つ説明しながら相モデルで通し
	10	アート	課題アートの描き方
	11	アート	課題アートの描き方
	12	技術チェック	手指消毒～ケア タイム計測40分
	13	技術チェック	カラー～仕上げ タイム計測40分
	14	通し計測	手指消毒～仕上げ タイム計測80分
	15	通し計測	手指消毒～仕上げ タイム計測80分
	16	中間テスト	手指消毒～仕上げ タイム計測80分
	17	3級検定内容	試験の流れを通して計測
	18	3級検定内容	試験の流れを通して計測
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験: 無
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	80時間(2年間合計130時間)	週時間数	6時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	4	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	5	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	6	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	7	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	8	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	9	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	10	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	11	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	12	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	13	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	14	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル I	指導担当者名	根本 裕太
実務経験	映像会社実務経験8年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。		
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	パソコン、iPad、一眼レフカメラ		
授業外学習の方法	動画を観る。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介
	2	結婚式の映像	鑑賞
	3	iPadでの撮影・編集	撮影
	4	iPadでの撮影・編集	Cap cutを使い編集
	5	iPadでの撮影・編集	Cap cutを使い編集
	6	iPadでの撮影・編集	Cap cutを使い編集
	7	iPadでの撮影・編集	Cap cutを使い編集
	8	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	9	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	10	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	11	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	12	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	13	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	14	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集
	15	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集
	16	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集
	17	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集
	18	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集
	19	発表	プレゼン
	20	まとめ	レポート
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル I	指導担当者名	根本 裕太
実務経験	映像会社実務経験8年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。		
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	パソコン、iPad、一眼レフカメラ		
授業外学習の方法	動画を観る。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	映像編集	テーマ別の撮影
	2	映像編集	テーマ別の撮影
	3	映像編集	グループでの編集
	4	映像編集	グループでの編集
	5	映像編集	テーマ別の撮影
	6	映像編集	テーマ別の撮影
	7	映像編集	編集作業
	8	映像編集	編集作業
	9	BFウエディングの映像編集	結婚式の素材撮影
	10	ビデオカメラでの撮影・編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモ・マーリン等を使い幅広い撮影方法での撮影
	11	ビデオカメラでの撮影・編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモ・マーリン等を使い幅広い撮影方法での撮影
	12	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集
	13	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集
	14	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集
	15	ビデオカメラでの撮影・編集	ウエディング用のビデオ撮影・編集
	16	BFウエディングリハーサル	リハーサル撮影・編集
	17	BFウエディング	当日撮影・編集
	18	まとめ	動画の整理・保存
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	フラワーコーディネーター	指導担当者名	萩原 恵望子
実務経験	花屋・フラワーコーディネーター実務経験12年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	花の知識や技術を習得することにより、知識や見識が広がり、表現方法や想像力を身につけることができる。 就職後も、その広い視点をいかし対応できる能力を養う。 また、心に潤いを与える美的情操の科目として豊かな人間性を養うことを目的とする。		
評価方法 評価基準	授業態度、製作物の取り組み方、完成度、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ウエディング雑誌		
授業外学習の方法	作品のレポートまとめ。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	花の名前や種類、他己紹介	今まで意識のなかった花へ意識を向けさせる
	2	ブリザードフラワー	プチギフトとして提案もできるアレンジ製作
	3	ウエディングでの花の役割	ブーケやテーブル装花の種類を調べる
	4	ウエディングでの花の役割	コーディネートマップ作成
	5	ハーバリウム	名札立てなどにも応用がきくアレンジ製作
	6	つくりリボン、アートフラワー	様々場面で役立つ作りリボンを学ぶ
	7	ハーバリウム上級編	アクリル樹脂の扱いなども学ぶ
	8	生花のアレンジメント	生花の切り方、扱い方などを学び日常にいかす
	9	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	10	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	11	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	12	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	13	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	14	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	15	テーブル装花やその他の小物	ヘアオーナメントやその他の花の役割
	16	グループにて1 アレンジ製作	他者の意見を取り入れたりかわりかき
	17	グループにて2 アレンジ発表	大切にしながら美意識を高めていく
	18	生花のアレンジメント1	大切にしながら美意識を高めていく
	19	生花のアレンジメント2	大切にしながら美意識を高めていく
	20	まとめ	フラワーコーディネーター作品作成
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	レストランサービス I	指導担当者名	木村 美紀子
実務経験		実務経験:	無
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービスについてのスキルを身に付ける。 ・レストランサービス技能検定3級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービストレーニングマニュアル BIAブライダルコーディネーターテキスト		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	ブライダルとレストランサービス
	2	接客サービスの基本	ブライダルテキストP.109サービスとホスピタリティ
	3	サービススタッフの振る舞い	ブライダルテキストP.95身なり・身振り・言葉遣い
	4	ブライダル会場コーディネートの基本	ブライダルテキストP.156会場コーディネート
	5	ブライダルテーブルコーディネートの基本	ブライダルテキストP.159テーブルコーディネート
	6	ブライダルの演出	ブライダルテキストP.174基本演出
	7	ブライダルの演出	ブライダルテキストP.177演出プラン①
	8	ブライダルの演出	ブライダルテキストP.177演出プラン②
	9	引き出物	ブライダルテキストP.182引き出物・引き菓子
	10	料理・飲み物	ブライダルテキストP.168料理・飲み物
	11	会場セッティング	ブライダルテキストP.217テーブルセッティング
	12	接客の基本	ブライダルテキストP.224当日のサービス業務
	13	ブライダルのアイテム	ブライダルテキストP.165ペーパーアイテム、P.184記録・記念アイテム
	14	アテンド業務	ブライダルテキストP.213アテンド業務
	15	宴会とレストランサービス	テキスト 宴会、レストラン客席案内
	16	宴会とレストランサービス	テキスト 注文、テーブルサービス、調理仕上げ
	17	宴会とレストランサービス	テキスト サービスマナー、国際習慣
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務含む)	指導担当者名	柳橋 南
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	就職活動について
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生・高校生・専門学校生の違い
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編) 業界マップの理解
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分自身を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方 1	業界・会社に合った動機作り
	15	志望動機の作り方 2	業界・会社に合った動機作り
	16	自己PRの作り方 1	業界・会社に合った自己PR 作り
	17	自己PRの作り方 2	業界・会社に合った自己PR 作り
	18	自己PRの作り方 3	業界・会社に合った自己PR 作り
	19	履歴書作成	期末テスト評価
	20	履歴書作成	まとめ
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務含む)	指導担当者名	柳橋 南
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方 2	実践)業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなど *履歴書の完成
	4	作成書類 2	
	5	作成書類 3	
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導
	7	就職試験のマナー 1	入退室
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策1
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策2
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	13	企業研究 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)
	14	企業研究 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)
	15	企業研究 3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	18	ポートフォリオについて	作品について
	19	まとめ	就職活動のまとめ
	20	レポート	レポート提出
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	ウエディングプランナーのスキル	職種と仕事内容を学ぶ
	2	情報共有とイメージ共有の仕方	テーマの作成
	3	企画内容の策定	結婚式のリサーチ
	4	広告戦略と集客～成約までの流れ	式場のアピールプランニングを学ぶ
	5	顧客の動向と婚礼市場	市場やマーケティングを学ぶ
	6	挙式のプログラムと意味	神前式を学ぶ
	7	挙式のプログラムと意味	神前式を学ぶ
	8	挙式のプログラムと意味	仏前式・キリスト教式
	9	挙式のプログラムと意味	仏前式・キリスト教式
	10	BFW打合せ①<カウンセリング>	ゲスト来校によるヒアリングとカウンセリング
	11	テスト	確認テスト
	12	BFWご提案プレゼン資料制作	プランをグループに分かれプレゼン準備をする
	13	BFW打合せ②<ご提案プレゼン>	プランをグループに分かれプレゼン準備をする
	14	プレゼン結果まとめ	プレゼン
	15	演出決定	企画内容の決定
	16	各担当ごとのスケジュール	演出・衣装・フラワー・音響・照明・映像など
	17	BFW打合せスケジュール作成	各担当決め・スケジュールの作成
	18	BFW打合せ③ <スケジュール・カウンセリング2・招待状>	打合せ
	19	招待状準備	招待状のサンプル作成
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関係する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	ウエディング準備	招待状・小物制作
	2	ウエディング準備	ウエルカムボード準備
	3	ウエディング準備	演出準備
	4	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備
	5	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備
	6	ウエディング準備	新郎新婦衣装
	7	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	8	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	9	ウエディング準備	音響・照明
	10	ウエディング準備	音響・照明
	11	ウエディング準備	運営確認
	12	テーブルマナー実習	パンケットの準備
	13	パンケット実習	パンケットの準備
	14	BFウエディング準備	校内リハーサル
	15	BFウエディング準備	校内リハーサル
	16	BFウエディング最終確認	会場リハーサル
	17	BFウエディング	結婚式
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネーターⅡ	指導担当者名	海野 あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験13年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・WBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	テキストを読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れについて解説
	2	前期の振り返り	振り返り
	3	フィッティング技術	名称を学ぶ
	4	フィッティング実習	フィッティング実務・採寸・対妊婦
	5	練習問題と解説	過去問題
	6	練習問題と解説	過去問題
	7	練習問題と解説	過去問題
	8	練習問題と解説	過去問題
	9	練習問題と解説	過去問題
	10	練習問題と解説	過去問題
	11	模擬問題	過去問題
	12	テスト	
	13	検定対策	過去問題
	14	ドレスコーディネーター検定	
	15	ドレスサロン見学	新郎和装・実物を見る
	16	列席者の衣装 * 特にモーニング	新郎和装・実物を見る
	17	ドレスコーディネーターの業務(貸衣裳店)	それぞれのショップの特性と流れ
	18	ドレスコーディネーターの業務	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)
	19	ドレスメンテナンス	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)
	20	まとめ	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定受験ガイド準1級」 「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について理解できる
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	13	前期試験	試験問題 準備
	14	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を理解できる
	16	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語・経済用語が理解できる
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている
	18	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる
	19	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を理解している
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定受験ガイド準1級」 「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる
	2	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる
	3	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている
	4	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている
	5	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている
	6	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる
	7	実技試験対策	実技試験のデモンストレーション
	8	実技試験対策	実技試験練習
	9	実技試験対策	実技試験練習
	10	実技試験対策	実技試験練習
	11	実技試験対策	実技試験練習
	12	後期試験	試験問題 準備
	13	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	14	実務技能 問題処理・環境整備	テキスト / プリント 準備 問題処理、環境整備について理解できる
	15	まとめ	テキスト / プリント 準備 まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定2級取得。 ブライダル全般の知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	テキストの振り返りや過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	結婚の定義	結婚の法的意義・結婚の成立・婚姻の要件、日本の結婚状況
	3	日本の結婚式: 歴史と文化	日本の結婚式の歴史・結婚に関する風習・いわれ
	4	欧米の結婚式: 歴史と文化	欧米の結婚式と文化
	5	欧米の結婚式: 歴史と文化	キリスト教の結婚式・その他の宗教と結婚式
	6	ブライダルビジネス	ブライダルビジネスとブライダルマーケット
	7	ブライダル業種	ホテル・レストラン棟
	8	ブライダル関連業種	婚活ビジネス・エイジェント・プロデューサー・衣装、結婚情報サイト等
	9	ブライダルのエリア特性	関東・名古屋・北海道・富山・四国・沖縄
	10	ブライダル業界の1年と集客システム	ブライダル業界の1年と集客システム
	11	ブライダルの基本	見合いと婚約・結納、結婚式・ブライダル準備・式の種類・披露宴・二次会
	12	コーディネーター業務	コーディネーター業務とは
	13	新規業務	集客方法
	14	ブライダルセールス	商品と特徴
	15	ホスピタリティ、プランニング、プレゼンテーション	新規フォロー
	16	打ち合わせ業務	初回～当日までの流れを知る
	17	コンセプトシート	コーディネーターの考え方
	18	コンセプトシート	衣装設定から披露宴、引き出物
	19	手配業務	コンセプトに基づいて
	20	当日業務	式、披露宴の流れ確認
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定2級取得。 ブライダル全般の知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	テキストの振り返りや過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	検定試験に向けて	過去の範囲確認
	2	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	3	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	4	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	5	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	6	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	7	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	8	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	9	テスト対策	テスト範囲
	10	テスト	確認テスト
	11	検定の過去問	個人のレベルに合わせた問題
	12	検定の過去問	個人のレベルに合わせた問題
	13	実技練習	実技問題の内容確認
	14	実技練習	実技試験対策
	15	検定対策	最終確認
	16	検定振り返り	自己採点
	17	まとめ	
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク(選択コースⅡ)	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3,2級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方・アイブロウテクニック
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラーブラシテクニック
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方・基本のアイラインテクニック(ペンシル)
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック(リキッド)
	6	「ビューラー&マスカラ」	・ビューラー、マスカラの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ・アイメイクトータルレッスン
	8	「リップ」	・リップの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイクトータルレッスンアイメイク・チーク・リップ
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメイク①」	・ベースメイクのテクニック(ブラシテクニック)・基本のプロポーションに近づけるフルメイク
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚・直線と曲線 半顔メイク実践・色の錯覚・色彩とメイクアップ
	14	「模擬試験レッスン①」	模擬試験①
	15	「模擬試験レッスン②」	模擬試験②
	16	「模擬試験レッスン③」	模擬試験③
	17	「模擬試験レッスン④」	模擬試験④
	18	「模擬試験レッスン⑤」	模擬試験⑤
	19	「模擬試験レッスン⑥」	模擬試験⑥
	20	2級実技試験	試験時間50分
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(選択コースⅡ)	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験13年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策バイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	3級検定内容	検定内容のレクチャー
	2	3級検定内容	ネイルケア
	3	3級検定内容	ポリッシュの使用方法
	4	3級検定内容	衛生管理・試験内容
	5	ジェルネイルの基礎	ジェルネイルの基本をレクチャー
	6	ジェルネイルカラーリング	ジェルとは ドライケア
	7	ジェルネイルアート	ジェルとポリッシュの違い
	8	ジェルネイルアート	ジェルとポリッシュの違い
	9	ジェルネイルカラーリングからアート	ジェルアート(ピーコック)
	10	ジェルネイルカラーリングからアート	ジェルアート(ピーコック)
	11	ジェルネイル通し計測	試験の流れを通して計測
	12	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	13	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	14	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	15	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	16	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	17	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	18	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	19	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	20	ジェルネイル検定初級	検定受験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライズビューティ	指導担当者名	海野 あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク12年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダルの現場で使うヘア・メイクの技術を身につける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	LedomメイクBOX		
授業外学習の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	2	ホットカーラーの巻き方	ウィッグを使用して練習
	3	コテの使用法	ウィッグを使用して練習
	4	ブラッシング種類を知る、束ね方	ウィッグを使用して練習。ヘアゴム準備
	5	ピンの種類を知る、ピンの止め方	ウィッグを使用して練習。ヘアピン準備
	6	編み込む(三つ編み)	ウィッグを使用して練習
	7	編み込む(表編み込み)	ウィッグを使用して練習
	8	編み込む(裏編み込み)	ウィッグを使用して練習
	9	編み込む(ローブ編み)	ウィッグを使用して練習
	10	テスト	相モデルでドレスヘアーにあったヘアーを作る
	11	ハーフアップ	ウィッグを使用して練習
	12	トップアップ	ウィッグを使用して練習
	13	ドレス着装 メイク ヘアー	相モデルで実践
	14	和装花嫁ヘアーメイク	相モデルで実践
	15	和装着装 メイク ヘアー	ウィッグを使用して練習
	16	和装着装 メイク ヘアー	ウィッグを使用して練習
	17	まとめ	和装・洋装花嫁実践
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	着付け	指導担当者名	①鈴木弥生 ②佐久間由紀
実務経験		実務経験:	①無 ②無
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、一般着付け技術を学ぶ。 山野流着装教室の初・中伝取得。		
評価方法 評価基準	授業態度、技術力、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	着物一式		
授業外学習 の方法	着付けの自主練習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	自己紹介 着付けの目的	講師紹介 今後の流れ
	2	礼装	実物・プリントの準備
	3	着物と着付け	実物・プリントの準備
	4	着物のいろいろ	実物・プリントの準備
	5	帯	実物・プリントの準備
	6	小物	実物・プリントの準備
	7	着物各部の名所	実物・プリントの準備
	8	着物の畳方	実物・プリントの準備
	9	着付けの一般的要領 着付けの準備物	実物・プリントの準備
	10	着付け実習 補正の仕方①	相モデルで演習
	11	着付け実習 補正の仕方②	相モデルで演習
	12	着付け実習 補正の仕方③	相モデルで演習
	13	着付け実習 長襦袢の着せ方①	相モデルで演習
	14	着付け実習 長襦袢の着せ方②	相モデルで演習
	15	着付け実習 長襦袢の着せ方③	相モデルで演習
	16	着付け実習 着物の着せ方①	帯の結び方 枕 帯上げ 帯締め。相モデルで演習
	17	浴衣の着付け①	相モデルで実習
	18	浴衣の着付け②	相モデルで実習
	19	着付け練習	相モデルで実習
	20	修了試験	初・中伝取得試験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアルⅡ	指導担当者名	根本 裕太
実務経験	映像会社実務経験8年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	撮影・映像編集の知識、技術が身に付く。 フライダルにおける撮影や映像編集のスキルを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一眼レフ・ビデオカメラ		
授業外学習 の方法	動画を観る。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	計画・運営担当の説明
	2	BFウエディングの映像	過去DVDによるレクチャー
	3	BFウエディングの映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	4	BFウエディングの映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	5	BFウエディングの映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	6	BFウエディングの映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする
	7	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	8	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	9	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	10	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	11	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影
	12	ビデオカメラでの撮影編集	MACでの編集を行う
	13	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	14	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	15	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	16	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	17	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	18	レストランウエディング準備風景映像作成	新郎新婦の撮影・編集
	19	作品発表	
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	レストランサービスⅡ	指導担当者名	木村 美紀子
実務経験		実務経験:	無
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービスについてのスキルを身に付ける。 ・レストランサービス技能検定3級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法、レストランサービストレーニングマニュアル		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 レストランサービスとは
	2	食材・飲料等の基礎知識	食品、西洋料理の食材
	3	食材・飲料等の基礎知識	西洋料理調理法
	4	食材・飲料等の基礎知識	飲料の種類及び特徴
	5	食文化	食文化史、食事作法
	6	施設管理	施設の知識
	7	施設管理	防災の知識
	8	接客の基本	飲料サービススタッフに求められる資質
	9	サービス実習	客席案内、注文、サーブルサービス
	10	サービス実習	客席案内、注文、サーブルサービス
	11	苦情対応と遺失物の取り扱い	飲料サービスにおける不満・苦情
	12	苦情対応と遺失物の取り扱い	好ましくないお客様への対応
	13	食品衛生及び公衆衛生	食品衛生、公衆衛生、食品衛生法、労働災害
	14	安全衛生	危険有害性、労働安全衛生に関する法令
	15	試験対策	プリント
	16	試験対策	プリント
	17	試験対策	プリント
	18	テスト	
	19	学科試験の振り返り	
	20	実技試験説明	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実習	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験20年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	4時間
学習到達目標	本物の結婚式を通して、ウエディングに必要な知識を身に付ける。 プランニングから当日の運営まですべてを体験する。		
評価方法 評価基準	授業態度・取組の姿勢、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ゼクシィ		
授業外学習 の方法	予習復習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	新郎新婦のサーチと結婚式の方向性
	2	打合せ①<カウンセリング>	新郎新婦打合せ
	3	ご提案プレゼン資料制作	A・B・C班に分かれて作成
	4	ご提案プレゼン資料制作	A・B・C班に分かれて作成
	5	打合せ②<ご提案プレゼン>	グループごとのプレゼン資料を作成
	6	打合せ②<ご提案プレゼン>	プレゼン結果 演出を決める
	7	打合せ③<スケジュール・カウンセリング3・招待状>	GB:システムで招待状デザイン選び
	8	打合せ③<スケジュール・カウンセリング4・招待状>	招待状文面校正作業(メール)
	9	打合せ④<コンセプトシート・進行内容>	招待状文面校正作業(メール)
	10	打合せ④<コンセプトシート・進行内容>	GB:ドレスサロン訪問
	11	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	招待状の最終確認
	12	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:招待状発送
	13	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	↓
	14	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:引出物決め(システム)
	15	打合せ <招待状お渡し・進行内容>	GB:席次入力完了(システム)
	16	最終確認	担当ごとの役割と準備物の確認
	17	BFウエディング	当日の動きの確認、最終準備物の確認
	18	まとめ	振り返りと反省点
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験		実務経験:	無
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	通年90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ITリテラシー能力を習得し、ブライダル業界での実務的なパソコンスキルを身に付ける。 ・プレゼンテーション能力を養う。 ・MOS検定スペシャリスト取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 		
使用教材	テキスト FOM出版 「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」 FOM出版 「よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の進め方
	2	Excel	基本操作
	3	Excel	基本操作
	4	Excel	データを入力しよう
	5	Excel	データを入力しよう
	6	Excel	表を作成しよう
	7	Excel	表を作成しよう
	8	Excel	グラフを作成しよう
	9	Excel	グラフを作成しよう
	10	Excel	グラフを作成しよう
	11	Excel	グラフを作成しよう
	12	検定対策	実践問題
	13	検定対策	実践問題
	14	検定対策	実践問題
	15	検定対策	実践問題
	16	検定対策	実践問題
	17	検定対策	実践問題
	18	検定対策	実践問題
	19	検定対策	実践問題
	20	検定対策	実践問題
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー	指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験		実務経験:	無	
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:	
時間数(通年)	通年90時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ITリテラシー能力を習得し、ブライダル業界での実務的なパソコンスキルを身に付ける。 ・プレゼンテーション能力を養う。 ・MOS検定スペシャリスト取得を目指す。 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。 			
使用教材	テキスト FOM出版 「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」 FOM出版 「よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」			
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。 			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	2	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	3	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	4	検定対策	セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	5	検定対策	セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	6	検定対策	テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	7	検定対策	テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	8	検定対策	数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	9	検定対策	数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	10	検定対策	グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	11	検定対策	グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	12	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	13	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	14	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	15	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	16	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	17	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」	
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験: 無
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	50時間(2年間合計130時間)	週時間数	6時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	4	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	5	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	6	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	7	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	8	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	9	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルVMD	指導担当者名	市川 美佳
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:◎	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ディスプレイの知識やセンスを身に付け、ブライダルの仕事の現場で役に立つスキルを身に付ける。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」の必要ページコピー、授業時間内の資料配布		
授業外学習 の方法	ブライダルの雑誌などからディスプレイされているものを見ておく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	オリエンテーション	VMDについて
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	ディスプレイ・VPについて
	3	ディスプレイ・VP・VMD概論	リテールディスプレイについて
	4	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルマーチャンダイジングについて
	5	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルプレゼンテーションについて
	6	ディスプレイ・VP・VMD概論	什器・器具・マネキン・ボディ・オブジェについて
	7	企画・実技	テーマ別ディスプレイの企画・実技
	8	ディスプレイ制作	グループごとに企画書を作成
	9	ディスプレイ制作	材料の準備
	10	ディスプレイ制作	制作
	11	プレゼン	制作のプレゼンテーション
	12	ブライダルサロンディスプレイ	衣装ディスプレイ
	13	ブライダルサロンディスプレイ	小物、ウエディングアイテム
	14	ブライダルサロンディスプレイ	ウエルカムボードについて
	15	ディスプレイ・VP・VMDの実際	ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)
	16	ディスプレイ演習	式場見学・レクチャー会
	17	まとめ	
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			